



# 納所小だより

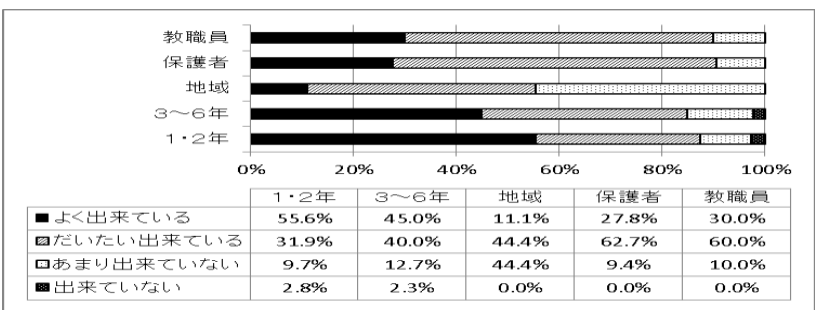
第2回学校評価 特別号

令和2年3月吉日  
京都市立 納所 小学校  
校長 森川 寿代  
TEL 075-631-2032

学校評価へのご協力ありがとうございました。集計結果より、児童の意識・実態、そして、保護者や地域の方のおもいや考え、教職員の認識や願いを考察し、児童のよりよい成長へとつなげていきたいと考えます。

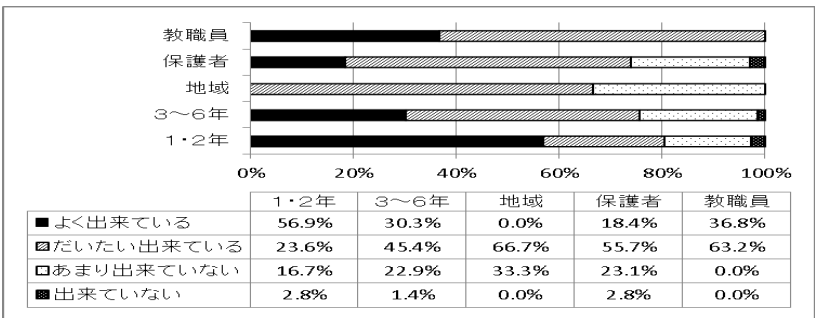
- ※1) 地域アンケートに関しては、児童の様子を見ていただいたの結果となります。
- ※2) 保護者・教職員アンケートに関しては、児童への働きかけにおける結果となります。
- ※3) アンケート結果を、小数第二位を四捨五入して小数第一位までの表記させていただいているため、合計数値が100%にならない項目もございます。よろしくお願い致します。

## 【1 自分からあいさつしている。】



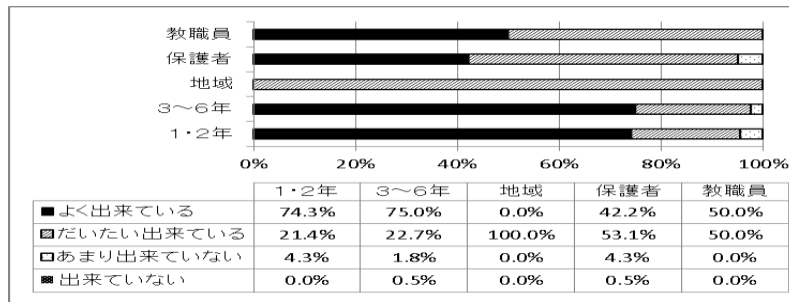
第1回よりも「出来ている」と回答している地域の割合は高くなり、自由記述でも「朝、家の前に立っていたらあいさつをしてくれる」と書いてくださっています。しかしながら、児童や保護者、教職員の割合はあまり変わっていません。児童集会で児童会からあいさつのよびかけを行っています、まだまだ意識を高めていく必要があると考えます。引き続き挨拶への働きかけを徹底していくとともに、教職員自らが姿勢で見せていきたいと思ひます。

## 【2 ことばづかいに気を付けている。】



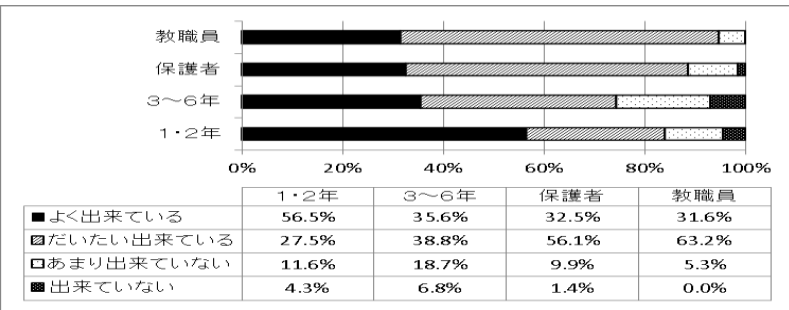
児童の「出来ている」という割合が、第1回に比べて低くなっています。子ども同士の会話を見ていると、つつい強い口調になっていることがあるようです。相手の気持ちを考えて自分のことばづかいを振り返ることが大切だと考えます。引き続き、道徳科の学習などで子どもたちと一緒にことばづかいについて考え、常に意識していけるようにしたいと思ひます。

## 【3 友だちを大切にし、仲良くしている。】



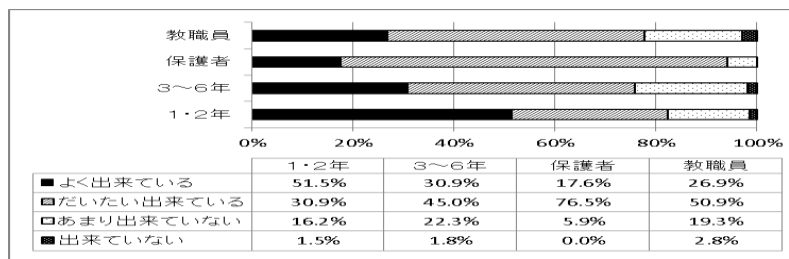
第1回に比べて保護者と教職員の「出来ている」の割合が高くなっています。教職員が子どもとの会話を大切にすることでなく、保護者とお子さんの話をする時間も大切にしていけることが、これからも必要だと考えます。学年だよりや懇談会でも、子どもたちの様子をしっかりとお伝えするようにしていきます。

## 【4 困ったことがあれば、先生に相談している。】



第1回に比べ、3～6年生の「出来ていない」の割合が低くなってきています。第1回を行った7月よりも教職員と話しやすい関係を構築できてきたのではないかと考えます。引き続き、どんなことでも気軽に話せるような関係を築いていきたいと思ひます。

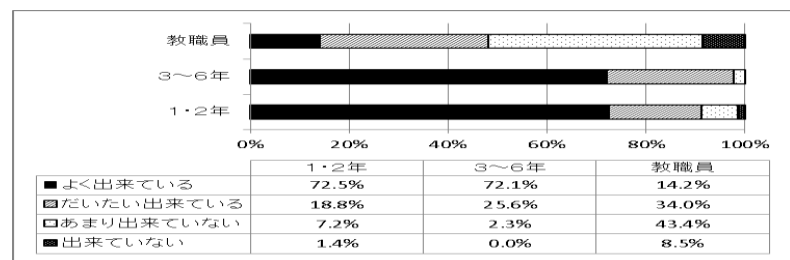
## 【5 忘れ物なく、学習の準備ができています。】



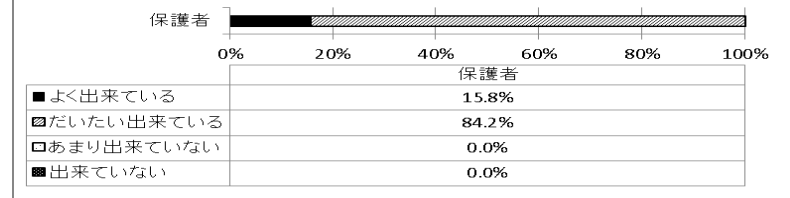
第1回に比べ、1・2年生と保護者の「出来ている」の割合が高くなっています。特に低学年において保護者の方のご協力

により、学習の準備をする習慣が身に付いてきました。しかしながら、3～6年生で改善の様子が見られず、教職員の「出来ていない」の割合が高くなっています。引き続き、自分のことは自分ですするという意識の向上を促す指導の徹底に努めていきたいと思ひます。

## 【6 係や掃除・給食当番の仕事を最後までできている。】

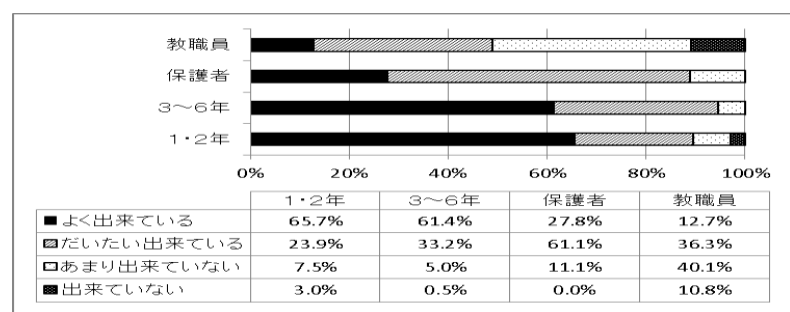


## 【掃除や片付けの習慣が定着するように役割を決めている】



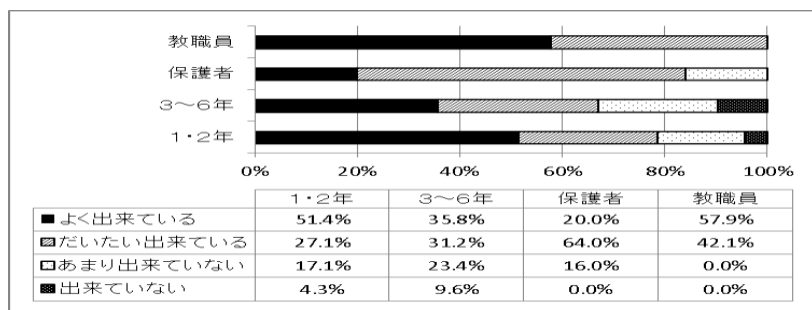
第1回に比べて、教職員の「(あまり)出来ていない」の割合が高くなっています。掃除や給食室への返し方など、慣れてくるとともに煩雑になってしまう様子が見られるようになってきました。教職員が子どもたちの様子をよく見て声かけをし、最後まで責任をもって、しっかりと仕事ができる子どもに育てていきたいと思ひます。

## 【7 はきものは、そろえている。】



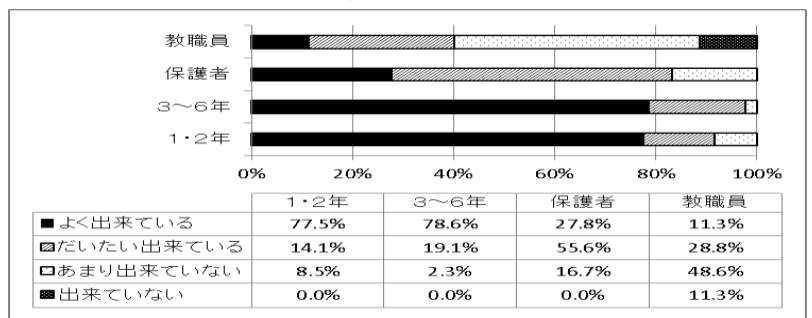
第1回と比べて、保護者の「出来ている」の割合が高くなり、家庭でも声かけをしてくださっていることがわかります。一方で、教職員の「(あまり)出来ていない」の割合が高くなっています。トイレのスリッパがきれいにそろっている、靴箱にきちんと靴がそろって入っている様子は気持ちのよいもので、子どもたちの心の表れともとれます。また、次使う人のことをおもいやる心も大事にしたいと思ひます。そのことを子どもたちに実感させ、行動にうつせるような手立てを教職員で考えていく必要があると考えます。

## 【８ 自分のよいところを言える。】



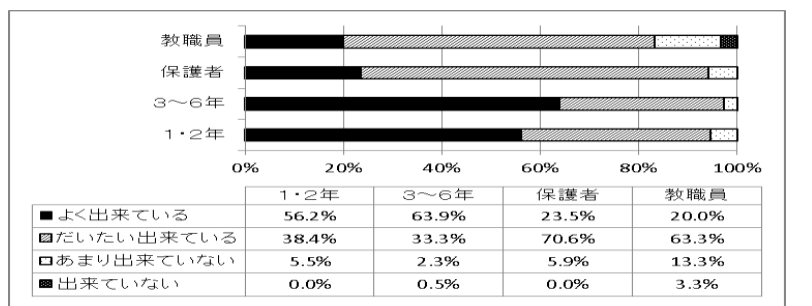
第1回と比べ、高学年の『自分のよいところを言える』児童の割合が高くなってきています。2学期は運動会や学習発表会などの学校行事などで自分の力を発揮できることが多くあり、自信をつけた児童もたくさんいたことと思います。引き続き、児童の良さを認め、十分に発揮できるよう取り組んでいきます。

## 【９ 災害の時の命の守り方を知っている。】



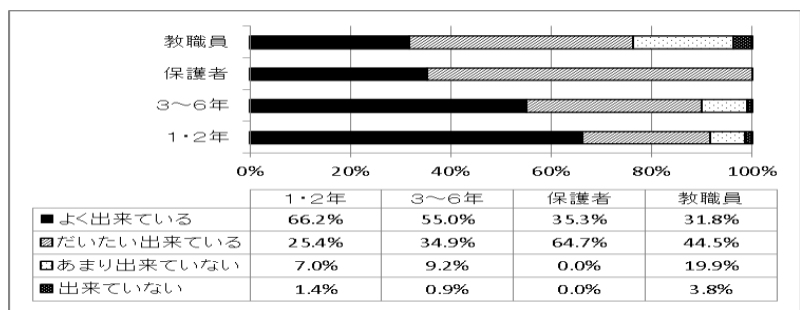
保護者の『出来ている』の割合が高くなっています。今年も全国各地で台風などによる大雨の災害が多くあり、本校でも水害による避難訓練を初めて行いました。家庭においても災害が起こったときにどうするのかを子ども達と考えていただいていることが回答結果から伺えます。3学期も避難訓練を行いました。他人事してではなく、もし自分の身に起きたときにどうしたらよいのか考えて訓練に取り組むようにしたいと思います。

## 【１０ 授業がよく分かる。】



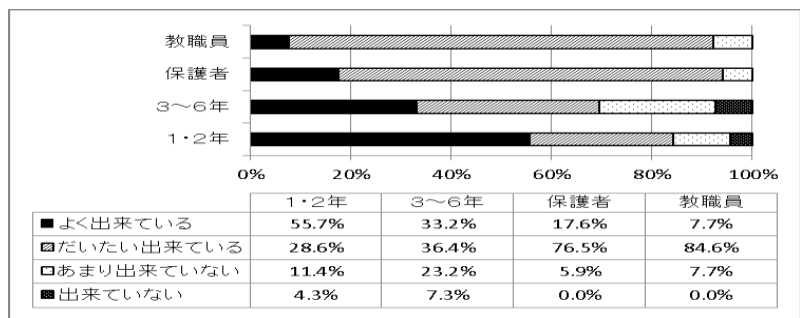
「(あまり)出来ていない」の割合が児童、保護者ともに低くなりました。2学期は「わたしのノート自慢」を行い、ノートの使い方を工夫するきっかけになりました。「(あまり)出来ていない」という児童が0になるように引き続き、児童の学習状況を適切に把握し、基礎的・基本的な学力の定着を目指して取り組んでいく必要があります。

## 【１１ 授業中、話をしっかり聞いている。】



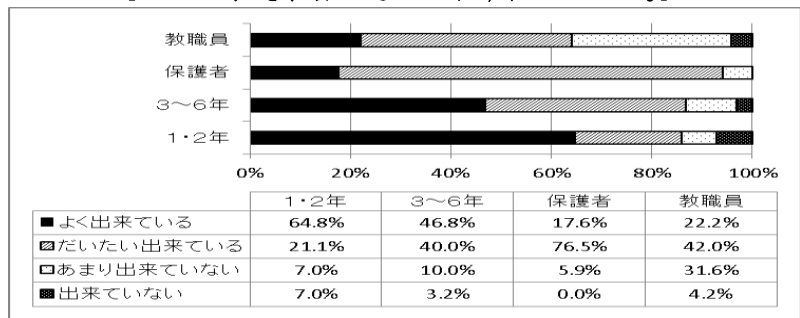
保護者の「(あまり)出来ていない」の割合が0となりました。授業参観などで子ども達が集中して学習に取り組んでいる姿を見ていただいた結果だと考えております。一方で、教職員の「(あまり)出来ていない」の割合が高くなっています。聞く力を育てるための取組を、3学期行ってまいりたいと思います。

## 【１２ 授業中、発表している。】



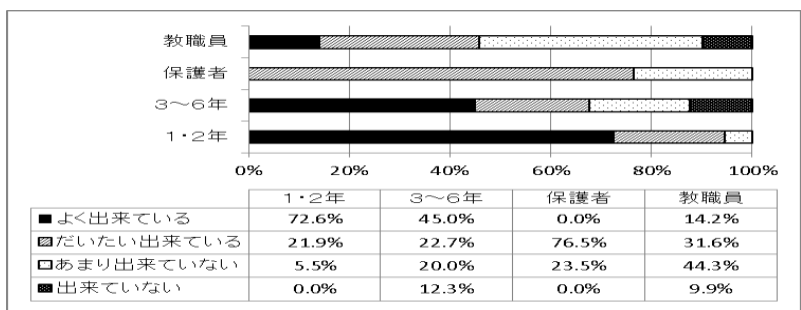
第1回と「(あまり)出来ていない」と回答する児童・保護者が少なくなってきたものの、あまり結果が変わっておりません。引き続き、校内における授業研修会などで、お互いの授業を見合い、発問の仕方や内容について検討していく必要があると考えます。

## 【１３ 家庭学習に進んで取り組んでいる。】



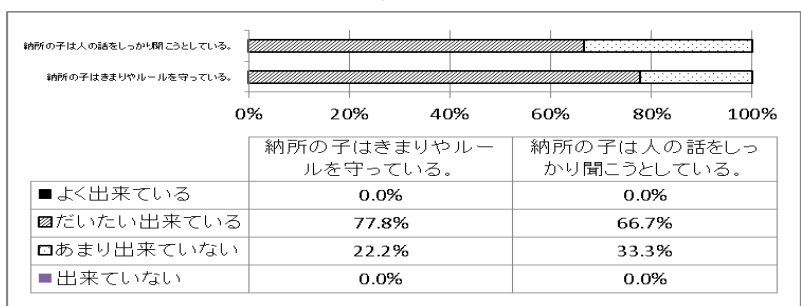
保護者の「(あまり)出来ていない」の割合が低くなりました。ご家庭でも声をかけて下さっているおかげだと思えます。家庭学習にしっかりと取り組むことができる児童が増えたことがわかります。一方、児童や教職員の「(あまり)出来ていない」割合は増えています。どのような手立てをすることで家庭学習に進んで取り組むことができるのか、教職員全体で考えていく必要があるのではないかと考えます。

## 【１４ 本をよく読んでいます。】



おはよう読書の時間に読書をする習慣が1・2年生にも定着してきています。また、国語科での並行読書の取組などを通して本を読む機会が増えてきています。その結果が保護者の「出来ていない」割合が0になったことに表れたのではないかと考えます。御家庭でも、親子読書等に取り組んでいただけたらと思います。

## 【地域の方の回答から】



地域におけるルールへの向き合い方においては、第1回より「だいたい出来ている」割合が増えています。朝会で学校長より安全の話があり、子ども達は歩道橋がつくられた理由を知ることができました。ルールを守り安全に登下校をしたり、公園等で遊んだりできるよう、指導を行っていきます。

また、話を聞く姿勢においては「あまり出来ていない」割合が低くなったものの、「出来ている」の割合が0となっています。引き続きしっかりと人の話を聞くことができるよう指導の徹底を行っていく必要があると考えます。

今後も、児童・地域・保護者の皆様と一層コミュニケーションを図り、開かれた学校づくりをしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願い致します。

